

第7期 新宿区多文化共生まちづくり会議 第1回全体会議 議事概要

日 時 令和6年10月24日（木）14:00～16:00

場 所 新宿区役所 6階 第2委員会室

出席委員 小林委員、毛受委員、岩野委員、ゼヤー委員、松田委員、楊委員、江副委員、タイン委員、坂口委員、鈴木委員、武田委員、立川委員、陳委員、ドゥラ委員、原田委員、マツラ委員、センブ委員、塚本委員、南委員、宗像委員、守重委員 21名

欠席委員 郭委員、申委員、長谷部委員、李委員、金委員、コチュ委員、叔委員、朴委員、伊藤委員、井上委員、山口委員 11名

- 1 開会
- 2 委員委嘱
- 3 新宿区長あいさつ
- 4 会長、副会長の選出

会長に小林委員、副会長に毛受委員、伊藤委員が選出された。

- 5 委員自己紹介
- 6 審議テーマと運営について

事務局から第7期多文化共生まちづくり会議のテーマについて説明があった。

【第7期多文化共生まちづくり会議のテーマ】

「多文化共生の推進に向けた交流について」

<背景・理由>

令和5年度に実施した多文化共生実態調査では、外国人住民と日本人住民ともに「交流」に関する回答が高く、また、前期の第6期会議では、「地域における多文化共生意識の醸成について」を審議テーマに議論を進めたところ「交流」に関する意見が多かった。さらに、第6期会議で大久保地域のまち歩きと施設見学を行った際、地域センターや図書館といった施設では日本人と外国人の交流拠点として様々な取組が行われていることがわかり、多文化共生の推進のためには「交流」が重要であることを再認識した。上記のほか、委員から第7期まちづくり会議のテーマについて、交流や振り返り（区の取組の検証と評価）、偏見・差別に関する意見もあった。

これらの背景・意見を踏まえ、第7期は「交流」をキーワードに審議を行うことで、相互理解と地域コミュニティの活性化を図り、多文化共生をさらに推進する。また、交流会やイベントを知らせるための「情報提供」や、コミュニケーションを図る「日本語学習」など、これまでの取組の振り返りを行うこともできる。さらには、「交流」により互いの文化を認め合うことで「偏見・差別」の解消

につなげることができる。

以上のことから、第7期まちづくり会議のテーマを、「多文化共生の推進に向けた交流について」とする。

7 その他

事務局から第2回会議の日程（令和6年12月11日）について説明があった。

8 閉会